

「大阪・町民社会ルネッサンス」事業について

.(趣 旨)

- わが国は、戦後、目覚ましい経済発展と社会資本の量的な充足を成し遂げたが、今日では、都市の画一化の進展、地域のアイデンティティやコミュニティの希薄化、美しい景観の喪失といった問題に直面している。
- 現在、求められている都市再生の新たな手法は、従来型の公共事業や大型都市開発等だけではなく、地域に根付き、地域を愛する企業や人々自らが創り出し、主導するものである。
- 大阪商工会議所都市再生委員会（委員長：銭高一善（株）銭高組社長）では、果敢なチャレンジ精神と自立自助の気概で自らのまちづくりを担ってきた「大阪町民」や「大阪・町民社会」こそが今の時代に求められる都市再生の主演であると捉え、「大阪・町民社会」への回帰を通じた大阪都市再生を目指すべく「大阪・町民社会ルネッサンス」事業を、「大阪町民」と協働して実施する。

.(内 容)「大阪・町民社会ルネッサンス」事業では、下記の通り、まちの「賑わい」・「安全」・「美しさ」を目指す各種事業を実施する。

1. まちの「賑わい」(ご担当：更家悠介副委員長)

(1) 「おおさかCBアワード2005」ならびにCB支援事業の実施

地域の企業や団体・個人が、まちの賑わい創出や地域活性化のために実施する各種コミュニティ・ビジネス(CB)を振興・支援することを目的に大阪府、大阪ボランティア協会と協力して表彰・交流・相談・情報提供の各事業を実施する。

(2) 「大阪検定」の実施検討

【当面の実施事業】

- 「おおさかCBアワード2005」の実施
- 「おおさか・まちとコミュニティフォーラム」の開催(11月14日)
- 「大阪検定」実施に向けて検討スタート

2. まちの「安全」(ご担当：土居年樹副委員長)

(1) 「まち再生ワーキンググループ」を通じた都市問題対策

各種都市問題(落書き、放置自転車、違法屋外広告物など)の対策を検討する組織として「まち再生ワーキンググループ」を設立し、各地の都市問題とその解決法に向けた取り組み事例などを収集するとともに、その具体的な解決方策の普及・啓蒙及び実施を行っている。

【当面の実施事業】

- 「まち再生ワーキンググループ」の開催
- 割れ窓理論実践ガイドブック「きっとできる、まち再生」の発行(11月中旬)
- シンポジウム「割れ窓理論でまち再生」の開催(12月20日：読売新聞大阪本社との共催)

3. まちの「美しさ」(ご担当：立野純三副委員長)

(1) 水辺の景観改善に向けての取り組み

花、緑、光などの活用による水辺の美観向上にむけた活動の実施。行政、企業、研究者などによる「大阪・水辺のランドスケープ研究会」にて事業の方針を検討し、沿川企業・住民、専門家などで組織する「大阪・水辺のランドスケープ・ワーキンググループ」にて具体的な事業の実施を行う。

(2) 景観緑三法への対応・取り組み

【当面の実施事業】

- 「大阪・水辺のランドスケープ・ワーキンググループ」による具体化事業の実施

「大阪・町民社会ルネッサンス」事業 概要イメージ図

